

# 高級広葉樹建材を効率よく加工して需要増に応えたい

## 課題

### 素材加工に手がかかって生産が追いつかない

株式会社シンラテックは、全国でも珍しい国産広葉樹建材の製造事業者である。輸入製品が多くを占めるなか、自社で地元の山林を購入・伐採し、木材加工から施工までを一貫して行い、付加価値の高い製品を製造している。

近年成長しているのが、地元産シノキなどの広葉樹を使用した住宅内装用建築材だ。「木目がきれいで高級感がある」との評判を呼び、山口県内のみならず首都圏・関西圏などでも使用され、受注量は毎年増えている。

しかし、国産広葉樹製品に使う素材は表面が硬く曲がりやすい性質があるため、次のような問題点が出ていた。①加工機械の刃物がすぐ傷む。②そのためゆっくり何度も加工することになり、削りしろが増えて歩留まりが悪い。③仕上げには手作業での補修が必要。④納期までの時間がかかり、コスト高になる。⑤生産が追いつかず、注文を断ることが多発している。

また、工場内では生産指示や生産工程が多岐にわたり、効率が悪い状態も続いていた。高まる需要に対応するため、新たな設備を導入するなど生産性の向上を図るとともに、新たに市場拡大を狙うための取り組みが必要だった。

## 支援

### 先端的な設備の導入で販路を拡大

問題を克服するには新たな設備導入が必要であることから、支援にあたったながと大津商工会は、ものづくり補助金を活用することを提案し、申請を支援。平成30年に採択を受けた。新規に導入したのは新型のプレーナーサンダーという設備で、広葉樹など硬く曲がりの強い材質に対応。この先端的な設備投資により、同社は現状の生産能力よりもトータルで年間3000万円程度の向上を目標にしている。

さらに、生産性向上にともなう販路拡大や市場拡大も急務だったため、小規模事業者持続化補助金や先端設備等導入計画の申請などの活用支援を専門家と連携して行い、採択・認定を受けた。

その結果、取引先からの注文などに的確に生産できる体制づくりを確立することができ、安定生産を維持していくことにより、今後の市場規模の拡大にも期待できる。



同社の広葉樹製品の施工事例

ものづくり補助金、持続化補助金、先端設備等導入計画の採択は、それぞれが独立したものではなく、関連性があるため、この採択が今後の業績向上に直結することが期待されている。

商工会では今後も、林業の分野で独自のサプライチェーンを構築している同社の強みを活かし、さまざまな需要に柔軟に対応していくための設備導入や販路拡大を着実に遂行すべくサポート。IT化に向けた取り組みも視野に伴走支援を続けていく。

#### 支援の経過

期間	支援内容
H27年 5月	生産体制の支援 (エキスパート事業)
10月	持続化補助金の申請支援
H30年 2月	経営革新計画の策定支援
4月	ものづくり補助金の申請支援
7月	先端設備等導入計画の策定支援

#### 会社概要

会社名：株式会社シンラテック  
 住所：山口県長門市日置中10758-131  
 電話番号：0837-37-5001  
 URL：http://www.sinlatech.com  
 代表者名：代表取締役 近藤友宏  
 創業年：昭和34年  
 年間売上高：2億8421万円 (平成29年)  
 従業員数：20名  
 商工会名・担当者名：ながと大津商工会・西村文孝